

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	国語	科目	現代文演習	学年	3
担当者	吉田			単位数	2
使用教科書	現代文B(数研)				
使用教材	LT実践長文読解(浜島書店)				
教科・科目の指導目標	「現代文」のテーマを深めるとともに、より高度な評論の読解や考察を行う。 難関大入試にも対応できる学力を養成する。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	<p>評論「希望について／人生論ノート」三木清とその問題演習</p> <p>評論「断片化と全体」 港千尋 とその演習問題 「地図の」</p> <p>問題演習「混沌からの表現」山崎正和</p>	<p>評論読解の基礎知識①「対比」②「同内容」③「具体から抽象」などを学ぶ。 評論読解に必要なキーワードや人物、考え方を学ぶ。 演習を行い、実力を確認する。</p> <p>評論読解の基礎知識④「比喩」⑤「因果関係」⑥「対概念のイメージ」⑦「語句の意味と価値」を学ぶ。 評論読解に必要なキーワード 演習を行い、実力を確認する。</p>	12
6月7月	1学期期末考査	<p>問題演習「「ギャフ」化する若者たち」斎藤環</p> <p>問題演習「感覚の幽い風景」鷺田清一</p> <p>「絵画の二十世紀」前田英樹</p> <p>問題演習「〈私〉はどこへいく？」黒崎政男</p> <p>「ナショナリズムは悪なのか」</p> <p>小説問題演習「かけす」川端康成</p> <p>「無銭優雅」</p>	<p>西垣通、港千尋、若林幹夫、山崎正和の文章を通して、「言語、記号、構造主義、メディア、情報、社会」というテーマを立体的に理解</p> <p>「個人(アイデンティティ)」「文化」「芸術」に関わる文章を読み、問題を解くことを通して、読解に必要な知識、キーワードを学ぶ。</p> <p>「情報」「個人」「哲学」「文化」「芸術」「社会」「国家」「近代」とテーマをつなげながら読み、問題演習を通して知識や考え方の定着をは</p> <p>小説読解(センター対策)を行う。</p>	12
7月10月	2学期中間考査	<p>問題演習「動物化するポストモダン」東浩紀</p> <p>「贅沢のすすめ」國分功一郎</p> <p>問題演習「記号としての身体」上野千鶴子</p> <p>「考える身体」三浦雅士</p> <p>小問題演習「日本文化における時間と空間」加藤周一</p> <p>「陰翳礼讃」谷崎潤一郎</p> <p>問題演習「巫女の視点」大澤真幸</p> <p>小説演習「置き土産」幸田文</p> <p>問題演習「多言語主義とは何か」川田順三</p>	<p>「ポストモダン」「資本主義」「経済」をテーマに問題演習を行う。</p> <p>「身体」「ジェンダー」「経済」「文化」「資本主義」など複合テーマの文章を読み、問題演習で理解を深める。 解答方法、記述の書き方「民俗学」「経済学」「社会科学」をテーマとした文章を、比喩や引用を解説しながら読み、問題解答力の完成をめざす。 センター演習「日本文化」に関する評論を読み、評論や小説の演習で行い、イメージをしっかりとつかむ。</p> <p>「文化人類学」「多文化主義」「ポストコロニアリズム」のテーマの評論を読み、いくつかのテーマの小論文の骨組みを作れるようにす</p>	14
10月12月	2学期期末考査	<p>私大過去問問題演習</p> <p>センター過去問演習</p> <p>センター・私大過去問 問題演習</p> <p>センター演習</p> <p>テーマ総まとめ</p>	<p>過去問のなかから生徒の状況をみて問題を選び、実践演習を行う</p> <p>過去問のなかから生徒の状況をみて問題を選び、実践演習を行う</p> <p>過去問のなかから生徒の状況をみて問題を選び、実践演習を行う</p> <p>直近の過去問を続けて解くことで、解答力を養成する。</p> <p>既習事項のテーマをまとめなおし、知識を確認す</p>	14
12月3月	学年末考査	問題演習	<p>「総覧」や「現代文単語」を用いて、総復習を行う。</p> <p>演習問題をふりかえり、総まとめを行う。</p> <p>国公立二次試験・私大対策</p> <p>国公立二次試験・私大対策</p>	18

評価の観点・方法	定期考査を中心に評価する。その他、毎回の問題演習や取り組みも参考にする。
----------	--------------------------------------